

## ミサゴ（ミサゴ科） 全長 オス54cm、メス64cm

今年は、大浦沼に飛来するミサゴの目撃回数と飛来数が例年よりも多くなっています。沼がまだ完全に解氷していない3月中旬ころから頻繁に観察されました。橋の両側や流入水路付近が僅かに解氷しているので、ここに狙いを定めているようです。

沼は川と比べて流れがほとんどなく、水中の魚も見つけやすいのでしょうか。

上空でホバリングする光景も普通に見られることから、ミサゴの撮影には最適の場所となっています。



猛禽類の貫禄が漂います。

4月、雄物川近くの山並みで新たにミサゴの営巣地を発見しました。私が確認している巣は3か所目となりました。

魚を主食とするミサゴは、巣の近くに川や沼などの餌場があれば好条件です。大浦沼と神宮寺の中川原公園の沼が、ミサゴにとって絶好の餌場となっているようです。



沼の上の電線から魚を狙っています。



ホバリングして狙いを定めると、豪快に飛び込み魚を鷲掴みにして飛び去った。

ここでは幾度となく、空中でホバリングしながら狙いを定める行動と、水中に飛び込む豪快な狩りが観察されました。しっかりと掴んだ魚をどこへ運んでいくのでしょうか。その先を双眼鏡でどこまでも追いかけてみます。

すると大体が巣のある方向へと向かっていきます。

今年新たに発見した営巣地は小高い山の稜線上の杉林で、たった1本の松の木です。



こまちが真下を通過したが、電柱の上からじっと眺めていた。



巣で待つメスに大きな魚を運んできました。

背後に聳える三峰山に登ってみると、ミサゴの巣を見下ろすような位置で観察できることが判りました。繁殖行動をじっくりと記録することが可能となりました。

今後巣立ちまでの行動をつぶさに撮影したい所ですが、150mの登山にどこまで体力が続くか自信がありません。

撮影機材の運搬に協力できる方は、ぜひご一報をお願いいたします。